

1 カリキュラム・ポリシー

農学部の人材養成等教育研究に係る目的ならびに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、入学者（学習者）が主体的に学習に取り組む、教職員による教育・支援および指導の下で自らの目標を達成できるよう体系的な教育課程を設けています。また、この教育課程の編成に当たっては、社会が要請する「学士力の養成」や「キャリア形成」、すなわち大学を卒業した人が備えているべき資質も重視しています。さらに、グローバル社会に対応するための英語力獲得を目指します。学科の教育課程については、以下の方針に基づいて構築しています。

[先端食農学科]

1 年次には『生物学』『化学』『基礎生物学実験』『基礎化学実験』『有機化学Ⅰ』『農場実習』といった基礎的知識を修得するための科目を、2 年次には『生物化学Ⅰ・Ⅱ』『微生物学』『園芸学』『海洋生態学』『植物栄養学』『食品機能化学』『先端食農実験Ⅰ』といった基本的な知識を修得し専門領域へと導入するための科目をそれぞれ必修で配置している。3 年次では、4 年次での専門的な教育研究に向けて、『食品衛生学』『栄養生理化学』『農薬化学』『植物生理学』『専門領域研究』などの科目を配置している。また、『食品加工実習Ⅰ』『植物工場実習』『陸上養殖実習』『フィールド実習』などの実習科目も設置され、個々の学生が自身の研究テーマを決定できるように工夫している。そして、4 年次は集大成として各自の研究テーマに基づいて卒業研究を行い、論文を作成できるよう『先端食農演習ⅡA・ⅡB』『卒業研究Ⅰ・Ⅱ』『卒業研究論文』といった科目を必修で配置している。

2 カリキュラムの特徴

1 先端食農学科科目群には、必修科目、選択科目があります。

必修科目 (講義・実験・実習・演習)	先端食農学科で学ぶうえで最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。
選択科目	各自の必要に応じて履修する科目 (生産農学科科目・環境農学科科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる)

2 領域配属

- 先端食農学科には、「システム農学領域」「食品科学領域」の2領域があります。第5セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。
 - ① 第4セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。
 - ② 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数はあらためて連絡します。
 - ③ 第4セメスターに担任が領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細はあらためて連絡します。

3 卒業要件

- (1) 修業年限をみたすこと
-
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
-
- (3) 累積GPAが2.00以上であること
-
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること
- 〈必修科目〉 玉川教育・FYE科目群：
「一年次セミナー101」「一年次セミナー102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
自然科学科目群：「化学入門」
-
- 〈必修選択科目〉 言語表現科目群：
「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」のいずれかを含むELF科目8単位以上
-
- (5) ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より上記(4)で示した必修および必修選択科目の単位を含み、次に指定する単位数を修得していること
- 人文科学科目群：4単位以上 社会科学科目群：4単位以上
自然科学科目群：6単位以上 学際科目群：2単位以上
言語表現科目群：8単位以上
-
- (6) 先端食農学科科目について、次の必修講義科目24単位を修得していること
- 100番台科目：「化学」「生物学」「有機化学Ⅰ」
200番台科目：「生物化学Ⅰ」「微生物学」「園芸学」「海洋生態学」「生物化学Ⅱ」
「植物栄養学」「食品機能化学」
300番台科目：「生物化学Ⅲ」「食品衛生学」
-
- (7) 先端食農学科科目について、次の必修科目の実験・実習・演習科目（「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究論文」を除く）15単位を修得していること
- 100番台科目：「基礎化学実験」「農場実習」「基礎生物学実験」
200番台科目：「先端食農実験Ⅰ」
300番台科目：「先端食農実験Ⅱ」「先端食農演習Ⅰ」
400番台科目：「先端食農演習ⅡA」「先端食農演習ⅡB」
-
- (8) 先端食農学科で開講されている選択科目（実習科目・専門領域研究・インターンシップを除く）から16単位以上を修得していること
-
- (9) 先端食農学科科目の「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究論文」を修得していること

4 卒業までの単位配分

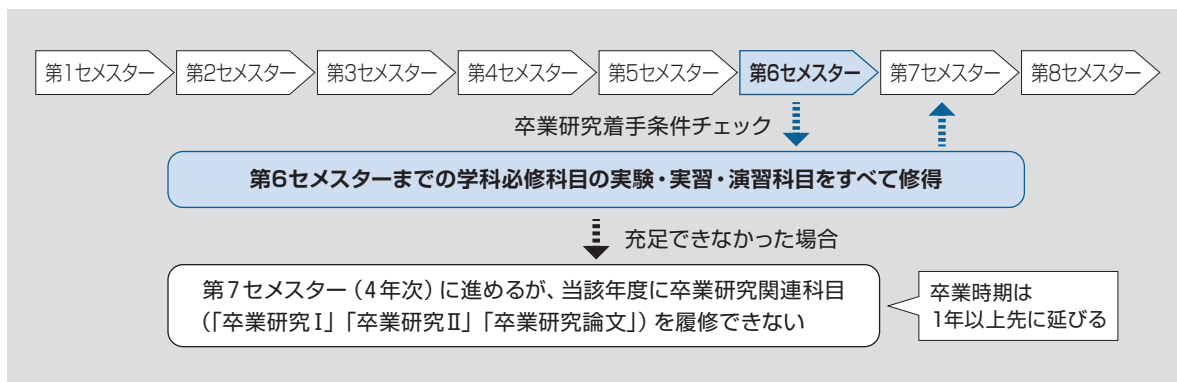
- 卒業に必要な最少単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、先端食農学科の場合その内訳は次のとおりです。

科目群	科目分類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE 科目群	7単位
	人文科学科目群	4単位以上
	社会科学科目群	4単位以上
	自然科学科目群	6単位以上
	学際科目群	2単位以上
	言語表現科目群	8単位以上
		合計24単位以上
先端食農学科 必修科目	必修講義科目	24単位
	必修実験・実習・演習科目	25単位（「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究論文」を含む）
選択科目	先端食農学科選択科目	16単位以上
	他学部・他学科開講科目	
	ユニバーシティ・スタンダード科目	
	他大学との単位互換科目	
累積修得単位		124単位以上

5 履修条件

- 第6 Semester終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、卒業研究に着手できません。

■第6 Semester（3年次）終了時における卒業研究着手条件チェック



6 履修上の留意事項

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、先端食農学科生が履修できない科目は「生物学入門」の1科目です。
- ② C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.49を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。
- ③ 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合がありますので、UNITAMAおよび大学7号館の掲示を十分確認してください。
- ④ 「食品加工実習Ⅱ」、「インターンシップ」、「植物工場実習」、「陸上養殖実習」は夏季休暇等を利用して実施されます。これらの科目および「食品加工実習Ⅰ」の履修希望者は事前ガイダンスに必ず出席してください。これらの科目は希望者が多数の場合、ガイダンス出席者に対し抽選または審査を行う場合があります。「食品加工実習Ⅱ」、「植物工場実習」、「陸上養殖実習」の履修登録・単位認定は授業後の翌学期に行い、当該学期の履修上限16単位に含まれます。
- ⑤ 「食品加工実習Ⅰ」と「食品加工実習Ⅱ」の両方を履修することはできません。

7 資格

- 「食品衛生管理者」と「食品衛生監視員」の養成施設として厚生労働省の登録を受けています。「先端食農学科食品衛生管理者等資格コース」として所定の単位を取得すると卒業と同時に資格が取得できます。